

消防署と消防団が連携して 『年末年始消防特別警備』を実施します！

～守ります！年末年始の市民生活の安全を!!～

例年、火災や救急が増加傾向となる年末年始期に、駅頭や大規模商業施設等での出火防止広報を行うとともに、放火防止等を目的として消防車両で地域を巡回するなど、市民の皆様が安心して年末年始を過ごせるよう、『年末年始消防特別警備』を実施します。



横浜市消防局マスコット
キャラクターハマくん

1 年末年始消防特別警備を実施する期間

令和2年12月20日（日）から令和3年1月4日（月）まで

2 年末年始消防特別警備の主な取組内容

(1) 放火火災発生地域・時間帯における消防車での巡回警戒など

消防署と消防団が連携して、放火火災が発生している地域や多くの人が入り出する集客施設、駅、寺社等を巡回し、出火防止や放火防止対策等を呼びかけます。

(2) 大規模商業施設等への火災予防巡回

多くの人が入り出することが予想される大規模商業施設等に対し、火災予防巡回を実施します。

(3) 市民の皆様への出火防止や予防救急に関する重点広報

駅頭や大規模商業施設等ではデジタルサイネージ等を活用し、市民の皆様に向けた出火防止や予防救急に関する広報を行うほか、消防隊等により車両での巡回広報を実施します（広報物の例は別添1及び別添2をご参照ください。）。

なお、広報活動等の際は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に充分配慮しながら実施していきます。各取組の詳細は、各消防署に御確認下さい。

各消防署連絡先	鶴見消防署	503-0119	保土ヶ谷消防署	342-0119	青葉消防署	974-0119
	神奈川消防署	316-0119	旭消防署	951-0119	都筑消防署	945-0119
	西消防署	313-0119	磯子消防署	753-0119	戸塚消防署	881-0119
	中消防署	251-0119	金沢消防署	781-0119	栄消防署	892-0119
	南消防署	253-0119	港北消防署	546-0119	泉消防署	801-0119
	港南消防署	844-0119	緑消防署	932-0119	瀬谷消防署	362-0119

お問合せ先

(年末年始消防特別警備全般に関すること)	消防局警防課長	大塚 和利	Tel 045-334-6701
(消防団に関すること)	消防局消防団課長	藤沢 直樹	Tel 045-334-6521
(火災予防、火災件数、原因等に関すること)	消防局予防課長	和知 治	Tel 045-334-6601
(救急件数等に関すること)	消防局救急課長	安平 博	Tel 045-334-6771

令和2年中の火災・救急の状況（1月1日から11月30日まで）

※令和2年の数値は速報値のため、変更することがあります。

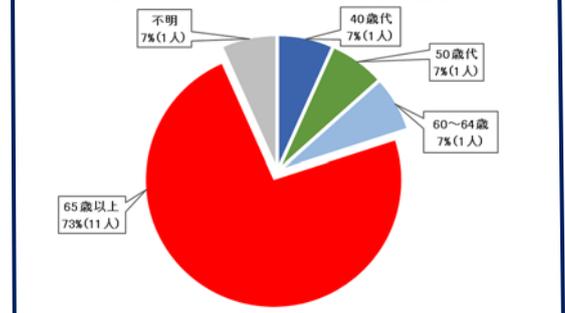
1 火災の状況

火災件数は、昨年度同時期に比べ減少していますが、**火災による死者の約7割、負傷者の約4割が65歳以上の高齢者**です。特に、寒さが本格化するこれからの季節、**ストーブ等の暖房機器**を使用する機会が増えますので、安全な取扱方法を身につけましょう。

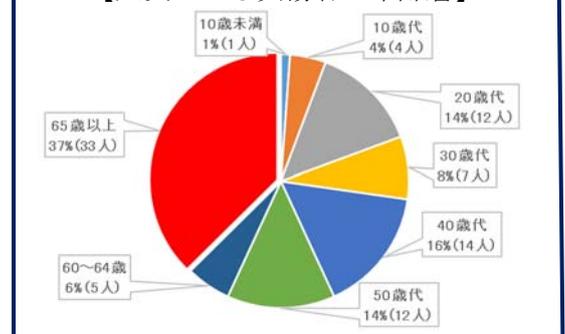
【火災の件数・種別・原因・損害】

区分		年	令和2年	令和元年	増△減
火災件数合計			580	615	△35
火災種別	建物火災		354	387	△33
	林野火災		0	1	△1
	車両火災		56	47	9
	船舶火災		3	1	2
	航空機火災		0	0	0
	その他の火災		167	179	△12
主な原因	放火(疑いを含む)		134	148	△14
	たばこ		85	93	△8
	こんろ		69	75	△6
	電気機器		35	39	△4
損害程度	配線器具		29	27	2
	焼損床面積(m ²)		4,490	6,227	△1,737
	死者(人)		15	21	△6
	放火自殺者		3	5	△2
	負傷者(人)		88	111	△23

【火災による死者の年齢層】



【火災による負傷者の年齢層】



※円グラフの割合は小数点第一位で四捨五入しているのでも100%にならない場合があります。

2 救急の状況

救急出場件数は177,363件で、**昨年同期と比べて14,994件の減少**、搬送人員は149,477人で、**昨年同期と比べて16,121人減少**しました。

近年増加傾向にあった救急出場件数が12年ぶりに減少しました。

【事故種別別救急出場件数】

区分	年	令和2年		令和元年		前年比較	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	増△減	増減率
出場件数合計		177,363	100.0%	192,357	100.0%	△14,994	△7.8%
事故種別	急病	121,712	68.6%	132,393	68.8%	△10,681	△8.1%
	一般負傷	32,883	18.5%	34,239	17.8%	△1,356	△4.0%
	交通事故	7,920	4.5%	9,268	4.8%	△1,348	△14.5%
	その他	14,848	8.4%	16,457	8.6%	△1,609	△9.8%

【傷病程度・年代別搬送人員】

区分	年	令和2年		令和元年		前年比較	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	増△減	増減率
搬送人員合計		149,477	100.0%	165,598	100.0%	△16,121	△10%
傷病程度	軽症	69,120	46.2%	79,201	47.8%	△10,081	△13%
	中等症	64,638	43.2%	70,102	42.3%	△5,464	△8%
	重症以上	15,715	10.5%	16,287	9.8%	△572	△4%
	その他	4	0.0%	8	0.0%	△4	△50%
年代	高齢者(65歳以上)	85,100	56.9%	92,850	56.1%	△7,750	△8%
	成人(18歳以上65歳未満)	51,821	34.7%	55,159	33.3%	△3,338	△6%
	少年(7歳以上18歳未満)	4,484	3.0%	6,023	3.6%	△1,539	△26%
	新生・乳幼児	8,072	5.4%	11,566	7.0%	△3,494	△30%

※構成比を示す数値は、小数点以下第2位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合があります。

「逃げよう、守ろう、その命」

～火災から命を守る6つのSTEP【自宅編】～



毎年、住宅火災で多くの方が亡くなっています。
 火災から命を守るためには、**早めの避難**が非常に重要です。
 過去10年間の火災による死者の発生経過は**逃げ遅れによるものが5割**を超えており、負傷者の発生原因は、**煙を吸ったこと、火炎にあおられたこと及び着衣着火**によるものなどが多くを占めています。



もし**火事**になったらどうしますか？

日頃の備え

住宅用火災警報器が鳴動



3分以内

煙等で玄関から出られないこともあることから2方向以上の避難経路を考えておくこと。

窓・ベランダ等

STEP1

まずは、火元の確認

火災確認

避難可能時間はほんのわずか
 早期の避難を第一に！

できない

STEP2

消火できるか判断

できない

できる

STEP4

避難

STEP3

周りに知らせながら消火器等で初期消火

できない

できない

できる

できた

STEP5

窓、ベランダ等、外気に触れる場所への避難
(救助を求める)

STEP6

119番に通報する

☆STEPごとの対応は裏面に・・・

STEP1

まずは、火元の確認 ※煙により、火元が確認できない場合はSTEP4・5へ

- どここの住宅用火災警報器が鳴ったか
- 何がどのくらい燃えているのか



STEP2

消火できるか判断

- 消火できる
- 消火できない
- 火元が確認できる
- 炎が天井に達している
- 炎が天井に達していない
- 煙や熱気で火元に近づけない



※マンションのベランダからの避難

マンションの玄関から逃げるのが難しいときはベランダから避難はしごを使って逃げるようにしましょう。

へだて板を破り隣のベランダに行く



※出典 一般財団法人
日本防火・危機管理促進協会
「家族を考えよう」

STEP3

周りに知らせながら初期消火!

- 「火事だー」と大声でさけぶ
- 安全な位置(3m~5m)まで消火器を運ぶ
- 火元を狙って、放射する
- 消えなかったら、すぐに逃げる

※ 服に火がついたら、倒れて左右に転がり消火する

STEP4・5

避難

- タオルやハンカチ等で口と鼻をおおい、姿勢を低くして逃げる
- 火元から、離れるように逃げる
- 煙により逃げられない場合は、窓・ベランダ等、外気に触れる場所へ逃げる(救助を求める)
- 絶対に戻らない



STEP6

119番に通報する

- 通報はあわてず聞かれたことを正確に答える
- 携帯電話の場合、所在地をはっきりと伝える



こんなものがあります!



火災から命を守る機器

住宅用火災警報器

警報音や音声で火災の発生を知らせて、被害の拡大を防ぎます。



住宅用消火器

火が小さいうちの消火に役立ちます。



防災品

火がつきにくい素材で、その製品から火災が燃え広がるのを防ぎます。



安全調理器具

油の過熱防止装置、立ち消え安全装置などのついた機器を使いましょう。



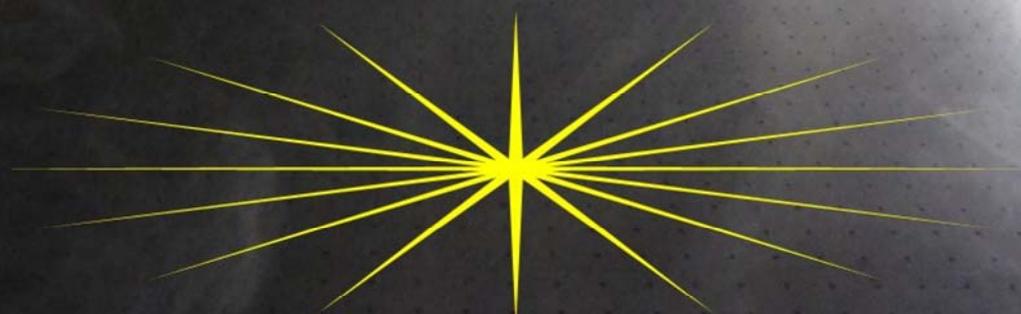
●「ご不明な点は、最寄りの消防署までお問い合わせください。」

令和2年12月発行
横浜市消防局予防部予防課 電話:045-334-6406

火災 から命を守るために 早めの避難が重要です！

煙を吸わないように
姿勢を低く！

口と鼻を覆って！



逃げよう 守ろう その命
横浜市消防局

スヤスヤ。

ストーブの近くに燃えやすいものは
絶対に近づけないで！

危ない！気づいて！！





消防局からのお知らせ

◆ 具合が悪いときは早めに病院へ！

急な病気やけがで受診の相談をしたいときは・・・



横浜市救急相談センター（#7119） 医療機関案内/救急電話相談
☎ #7119（携帯電話、PHS、フッシュ回線） <年中無休・24時間対応>
 または 045-232-7119（すべての電話で利用可）

横浜市救急受診ガイド

パソコンやスマートフォンで、急な病気やけがの緊急性を確認できます。

「横浜市救急受診ガイド」で検索してください。

各区消防署にて、冊子版も配布しています。

横浜市救急受診ガイド

検索



◆ 新型コロナウイルス感染症及び 季節性インフルエンザ対策を万全に！

- ・こまめに手を洗いましょう
- ・マスクをしましょう
- ・こまめに換気をしましょう
- ・十分な睡眠と栄養をとりましょう
- ・「3密」を回避しましょう



◆ 食事中の窒息に注意！

毎年、年末年始の時期には、お餅などをのどに詰まらせてしまったという救急要請が多くなる傾向にあります。

また、お餅だけでなく、ごはんやパンなどをよく噛まずに飲み込もうとして詰まらせてしまうことがあります。

ゆっくりと 小さく切って よく噛んで

食事中の窒息に注意しましょう！



横浜市 _____ 消防署

TEL: 045- _____ - 0119